

## 量子化

画素の濃度に対して何段階かの区分に分ける量子化のレベルを階調と言います。音声の量子化レベルに相当します。濃度は本来連続的に変化するアナログ量ですが、これを離散的なデジタル量(整数値)に変換する操作が量子化です。

階調の数を前後させることで、画像のなめらかさを比較することができます。(階調とは画像のいちばん明るい状態から暗い状態までを何段階にわけのかを表す数字のことです)。元画像と量子化した4枚の画像を用意しました。効果がわかりやすい4段階の階調になっています。



### テンプレートの起動方法

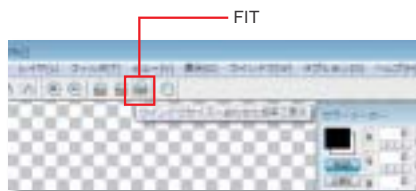
- 1 Windowsのタスクバーにある「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「スタート」メニューの「プログラム」「デイジーアート7SE」「学習用テンプレート」から「量子化」を選択します。
- 3 「量子化」を選択すると学習用テンプレートが起動します。



- 4 テンプレートが起動したら「最大化」をクリックし、画面を最大化します。

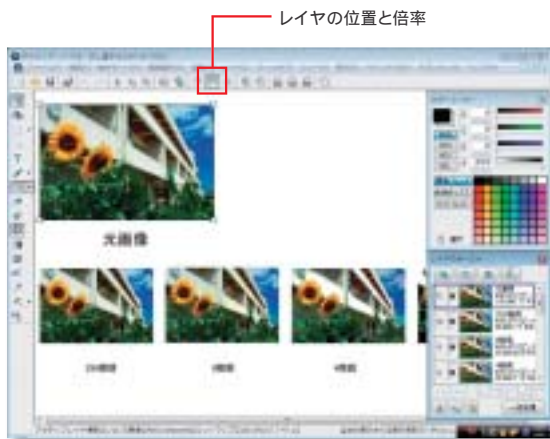


- 5 ツールバーの「FIT」をクリックし、テンプレートをキャンバスに合わせます。

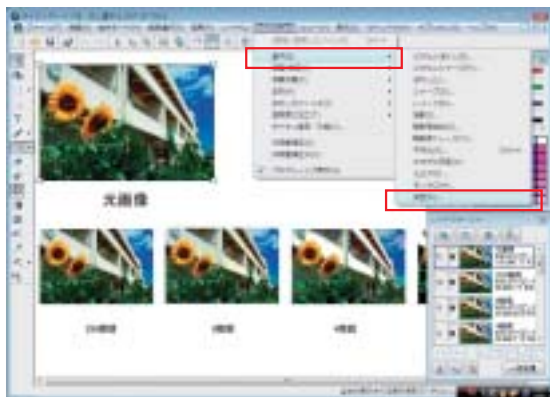


## 元画像の量子化の操作方法

- 1 ツールバーの「レイヤの位置と倍率」をクリックします。



- 2 レイヤマネージャの元画像のレイヤを選択します。
- 3 メニューバーの「フィルタ」の「基本」から「減色」を選択します。



- ④ [減色:パラメータ設定]が表示されます。R I G I B の入力枠に段階の値(階調)を入力します。

デフォルトは全て256になっています。

[R I G I B]の値はすべて同じ値にします。

[A]の値は変えないでください。[A]は透明度を示しています。

階調を256階調、8階調、4階調にするとテンプレートと同じ結果を出すことができます。



- ⑤ 'OK'をクリックするとパラメータで設定した効果がキャンバスの画像へ反映されます。

